

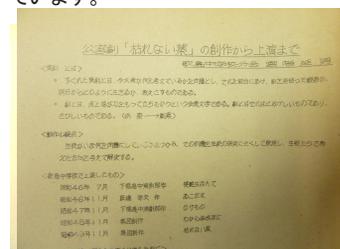
# 所蔵資料紹介

## 西淀川の公害を伝える—公害劇「枯れない葉」—

(No.2416「公害劇「枯れない葉」の創作から上演まで」、No.11249〔朝日新聞記事スクラップ〕)



1998年10月24日の朝日新聞夕刊  
上演前の稽古風景の写真も掲載されています。



資料No.2416  
公害劇「枯れない葉」の創作から上演まで

西淀川の大气汚染公害を題材とした「枯れない葉」という劇があるのをご存知でしょうか。これは、大气汚染がひどかった1973年頃、歌島中学校の教諭・宮階延男氏が演劇部員らと考えたものです。「西淀川公害患者と家族の会」資料には、宮階氏による「公害劇「枯れない葉」の創作から上演まで」という資料が残されています。同資料では、創作の観点や取り組みなどについてまとめられています。

20年間に渡る西淀川公害訴訟が終結した1998年10月、「公害

は身近な問題なんだ」、「演劇通じて生徒ら実感」という見出しで、この「枯れない葉」を練習する岩手県三陸町の中学生が新聞で紹介されました。その記事によると、自然に恵まれ公害が遠い存在であった生徒らは、「初めて脚本を読んだ時、作り話だと思った」そうです。また、宮階氏の言葉「西淀川の公害は、住む者が取り上げなければ、だれも関心を持ってくれない」との言葉も紹介されています。「枯れない葉」は京都府京北町の中学校でも上演されたようです。(北嶋奈緒子)

### 四日市公害を伝える活動を続けてきた 澤井余志郎さんがお亡くなりになりました

2015年12月16日に87歳でお亡くなりになりました。澤井さんには、12月13日に四日市で開催していた公害資料館連携フォーラムのゲストとして名前を連ねてくださっていましたが、出席がかなわず、訃報を聞くこととなってしまいました。



四日市公害と環境未来館が2015年の3月にオープンしましたが、この資料館の基本となった資料は澤井さんの収集した記録です。四日市公害反対運動を支え、自ら「記録人」と名乗って、記録して公害の実態を発信し続けてきた方です。

1997年から、四日市再生「公害市民塾」を立ち上げて公害を伝える活動を続けておられました。あおぞら財団の活動をずっと応援して下さり、長らく会員になってくださっていました。ご冥福をお祈りします(林)



### 編集後記

2月-如月-。一年で一番寒さの厳しい時期ですが、寒中から早春と季節の移り変わりを感じる楽しみがあります。寒さで着るものを重ねる事から(着更着)とする説や、気候が少しずつ陽気になってくるため(気更来)とする地域もあるそうです。今朝、通勤路の緑陰道路の木に小さな新芽を見つけた。寒い時期があるから春には鮮やかな緑へと成長します。～緑陰道路『希咲楽樹』(←いかがでしょう?) 便り～ですね! (佐々木)

資料館だより No.55  
2016年2月号(季刊1日、年4回発行)

発行所 あおぞら財団付属  
西淀川・公害と環境資料館  
(エコミューズ)  
連絡先 大阪市西淀川区千舟1-1-1  
あおぞらビル5F(〒555-0013)  
TEL:06-6475-8885  
FAX:06-6478-5885  
Email: webmaster@aozora.or.jp  
http://www.aozora.or.jp/ecomuse/

**\*お知らせ\***  
エコミューズ活動資金  
【ハモン基金】  
寄付協力をお願い  
エコミューズを支えてください。あなたの寄付金は青空とつながります。  
●寄付の方法  
郵便局からお振込いただけます。また、直接エコミューズにお越しいただいても結構です。  
【一口】十万円／一万円／千円  
【口座番号】  
00960993  
124893

【加入者名】あおぞら財団  
※通信欄に「ハモン基金への寄付」と記入ください。  
一口の金額はお選びください。  
ボランティア隊  
「エコミューズ★募集  
あなたもエコミューズ★に入っちゃおう!資料整理や展示、イベントの手伝いなど、活躍の場がいっぱいです。  
交通費●実費支給(上限2000円)  
どうぞお気軽にお問い合わせください。



エコミューズは  
青空を未来へ手渡す記録のひろば  
西淀川の公害・環境、地域に関する記録資料や環境学習の教材・ビデオなどが豊富です。ぜひご利用ください  
開館●月曜日、金曜日(祝日は休み)  
10:00AM~5:00PM [要予約]  
利用●図書の貸し出し期限は2週間  
書庫資料や裁判記録は閲覧のみ